

(数学I) 学習指導案

					授業者	
学級	1年 3組	教室	136教室	日時	平成22年6月15日(火) 1時限	
単元	第2章 2次関数			使用教科書	改訂版 新編 数学I (数研出版)	
指導目標	関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識させる。また、2次関数のグラフの特徴や平行移動の意味を理解させ、グラフを用いて関数の最大値・最小値を求めることができるようにさせる。			指導計画	第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ・・・3時間 2 2次関数のグラフ・・・7時間 (本時はその1時間目)	

本時の指導

主題(教材)	2次関数のグラフと平行移動			
前時の課題	中学校で習ったグラフを復習してくる。			
目標	1 基本的な2次関数のグラフの特徴を理解させ描けるようにさせるとともに、用語を定着させる。 2 2次関数のグラフの平行移動について理解し、描けるようにさせる。			
指導過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・規準等
	(導入) 2次関数のグラフについての既習事項を確認する。	5	・新たな用語についても理解させる。	・内容が定着しているか。 <知識・理解>
	(展開) 1 さまざまな $y = ax^2$ のグラフを描き、特徴を知る。	10	・基本事項以外に、特に頂点からの開き具合に注目させる。	・特徴を自分で気づくことができるか。 <数学的な見方や考え方>
	2 1のグラフをy軸方向に平行移動させたグラフを描く。	10	・頂点の場所を確認させ、そこからの開き具合を考えさせる。	・正確にグラフが描けるか。 <表現・処理>
	3 1のグラフをx軸方向に平行移動させたグラフを描く。	10	・教科書の図にある平行移動のさせ方との違いを理解させる。	・積極的に取り組んでいるか。
	4 1のグラフをx軸方向、y軸方向ともに平行移動させたグラフを描く。	10	・頂点の位置と開き具合でグラフが決定されることを理解させる。	<関心・意欲・態度>
5 2のグラフを表す関数を考える。	5	・y軸方向に平行移動させたときの関数の変わり方に注目させる。	・関数のどの部分がどのように変わればよいか説明できるか。<知識・理解>	
(整理) 本時のまとめと次時の内容の確認をする。			・本時のまとめと次時の課題を確認させる。	
備考	学科・類型 (普通科・文I類型) 男子 (19人) 女子 (21人) 計 (40人)			